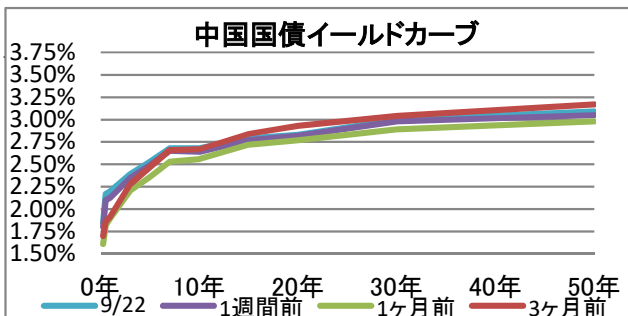
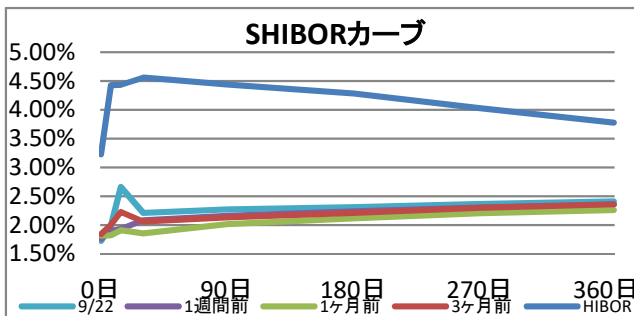


基準レート		2023/9/22	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1729	-0.0057
	JPY/CNY	4.8935	-0.0129
SHIBOR	3M	2.2730%	+0.1080%
国債利回り	10年	2.68%	+0.04%
上海総合指数		3,132.43	+14.69



(1) 概況

国際金融市場では、注目された米FOMCにおいて政策金利の高め維持見通しが示されたことから、FOMC前から見られた中長期金利と株式市場の水準調整が一段と進む格好で、債券市場、株式市場ともに軟調に推移した。外為市場は依然として方向感のない、小幅な値動きが続いている。

中国金融市場では、景気浮揚策や不動産企業支援策等の政策効果への懸念から、先行き不透明感が払拭できずに軟調に推移していたが、上海と北京における対外開放拡大策を材料に、大型連休と四半期末を控えたポジション調整も見られ始め、株式市場では買戻しが、外為市場では元安圧力が低下している。

中国では、習主席が新型工業化促進に関する重要な指示を行い、李強総理が国務院常務会議で、景気回復を更に強固にするための関連政策発動と取組みの加速方針を示し、市場監督管理総局は、「民営経済の発展促進に関する措置」を公表。人民銀行は、最優遇貸出金利の据え置きを決定し、外資系金融機関等に対して市場化、法治化等で一流のビジネス環境を構築する方針を示し、記者会見で為替の投機的な動きへの抑制方針や地方融資プラットフォーム債務を監視する常態メカニズム建設方針を示し、米国防務省との対話強化のため金融分野の作業部会を設立。易会満証監会主席は、英シティ代表と両国資本市場の協力につき意見交換を実施し、証監会は一定基準を満たす上場企業の配当を促す方針等を示した。また、上海市は自由貿易試験区における外国投資家等への資本規制緩和を実施し、北京市では全域での資本規制緩和等に関する条例へのパブコメ募集を開始している。不動産関係では、恒大集団が債権者協議延期と外貨建て債務再編に関する条件見直しの方針を公表し、遠洋集団がオフショア債支払いを一時停止し、中堅不動産会社・融創中国が米破産法15条の適用を申請し、ムーディーズが、複数の中国不動産会社の格下げを実施。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日7,040億元、中央国庫定期預金期日500億元に対して、リバースオペ12,560億元（7日物7,660億元、14日物4,900億元）、中央国庫定期預金500億元を実施し、ネットで5,520億元を供給。

(3) 主な経済指標

特になし

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7270%	1.7270%	1.9900%	
1W	1.9880%	2.8000%	1.5500%	1.7500%
2W	2.6630%	2.8000%	3.0000%	2.5300%
1M	2.2110%	2.2110%	3.2000%	2.5000%
3M	2.2730%	2.5000%	2.4800%	2.3200%
6M	2.3120%			2.4000%
9M	2.3660%			2.4500%
12M	2.4120%			2.4550%

人民銀行は、四半期末要因や債券増発等による金融システム内の月末越え資金需給がタイトな状況が続いていることから、9月末越え資金供給を増やしたものの、金利水準は高止まりの状況が続いている。四半期末越えとなるターム物の出合いは、1ヶ月が2.9%前後を中心に当たっており、香港の人民元HIBORも高止まりが続いている。

NCDの金利水準も上記を映じて上昇を続けており、1ヶ月が2.5%前後、3ヶ月が2.3%台、6ヶ月が2.4%前後に上昇し、1年は2.45%前後での取引が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.37%	5.38%
1W	5.45%	5.46%
1M	5.65%	5.70%
3M	5.75%	5.80%
6M	5.80%	5.85%
12M	5.90%	6.00%

中国国内市場では、四半期末要因に加えて外為市場でのドル高止まりも続いており、タイトな需給状況に変化はなく、FOMC後には政策金利見直しに基づく調整により金利水準が一段と上昇している。ターム物の出合いは、1ヶ月が5.7%前後、3ヶ月は5.8%前後にそれぞれ上昇している。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.85%		2.26%	2.48%	2.62%
6M	2.17%		2.38%	2.52%	2.67%
1Y	2.20%	2.30%	2.51%	2.59%	2.74%
3Y	2.39%	2.47%	2.70%	2.86%	3.33%
5Y	2.53%	2.63%	2.79%	3.10%	3.80%
10Y	2.68%	2.89%	2.98%	3.24%	3.94%

米国債券市場では、FOMCでの金融政策変更なしとの見通しを維持しつつ、政策金利の高め維持長期化への懸念を織り込む動きが続き、FOMC後に公表された政策金利見通しがタカ派的な内容だったことを受けて利回りは上昇している。中国債券市場では、景気先行き透明感からの利回り低下が続いていたものの、米FOMCや対外開放を含む政策効果による景気回復期待の高まりによる株式市場急騰を受けて、先物と利率債を中心に下落に転じ、債券利回りは上昇。この結果、米国の10年国債利回りは4.43%（前週比+10bp）に上昇を続け、10年中国国債利回りも2.68%（同、+4bp）へと上昇に転じたことから、利回り差は+175bp（同+6bp）に拡大を続けている。

中国債券のイールドカーブは、四半期末や地方債増発等による資金需給タイト化が続いていることに加え、上記の要因も加わり、短期を中心に利回りが上昇するフラット化がさらに進んだ。クレジットスプレッドは、利率債の利回り上昇が相対的に高く、総じて縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-194.0 / -193.0
3M	-627.0 / -623.0
6M	-1285.0 / -1283.0
9M	-1967.0 / -1965.0
12M	-2641.0 / -2639.0

対ドル基準レートは7.1729と前週末比-57pipsのドル安元高、対円基準レートは4.8935と同-129pipsの円安元高と、大幅な元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、緩やかにドル高が進んだものの、人民銀行による元高設定継続、投機取引けん制姿勢や国内からの国外資金流出抑制に加え、上海貿易試験区での金融等のサービス貿易を含む対外開放高度化策を受け、金曜日にはストックコネク트가流入超に転じる等、秋の大型連休を控える中で元安圧力が低下し、ドルの上値は7.30台で抑えられる格好となった。

先物は、FOMCが政策金利の高め維持を示唆するややタカ派的であったことから、週後半に長めの期間のマイナス幅が拡大し、1年物は-2600台前半で週末を迎えている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.04%		1.56%
6M	2.05%	2.30%	1.72%
9M	2.03%	2.26%	1.70%
1Y	2.03%	2.26%	1.56%
3Y	2.24%	2.48%	1.90%
5Y	2.47%	2.74%	
7Y	2.59%	2.89%	
10Y	2.69%	2.93%	

スワップ金利は、債券利回りが短期を中心に上昇したことを受け、短期の上昇によるフラットニングが進む展開となり、債券利回りとの差であるスワップスプレッドも縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入